

科目名	コンサート概論2							年度	2024
英語科目名	Introduction to Concerts 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	床鍋 隆	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】									
コンサート・音楽イベントについて必要不可欠な知識を学びます。ライブに不可欠なPAエンジニアとして必要な知識として、まず実習で取り扱う機材についての説明と、音の性質と特徴を捉えオペレートに必要な知識を学びます。									
【科目の概要】									
基礎実習と連携をとりながら、実践の予習復習とコンサート音響に必要な基礎知識から、最新の状況まで取り上げていきます。前半は基礎実習ローテーションの中で取り上げた機材の解説と目に見えない音の不思議を。コース選択後はより音について深掘りしていきます。									
【到達目標】									
A デジタルコンソールが理解できる B マイクロホンの仕組み特性を理解しセッティングできる C リハーサルの流れを理解できる									
【授業の注意点】									
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し		レベル1 要努力			
到達目標 A	デジタルコンソールが理解しセッティングができる		デジタルコンソールが理解できる			デジタルコンソールの理解が乏しい			
到達目標 B	マイクロホンの仕組み特性を理解しプランニングできる		マイクロホンの仕組み特性を理解できる			マイクロホンの仕組み特性の理解が乏しい			
到達目標 C	リハーサルの流れを理解しマイクアレンジ単音モニターの流れも理解している		リハーサルの流れを理解できる			リハーサルの流れの理解が乏しい			
到達目標 D	ワイアレスマイクの特性を理解し電波帯も理解している		ワイアレスマイクの特性を理解できる			ワイアレスマイクの理解が乏しい			
到達目標 E									
【教科書】									
参考書・参考資料等は、授業中に指示します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
* 試験と課題を総合的に評価する。 * 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサート概論2			年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	基礎音響学	デジタルコンソール	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 M7CL	盤面：画面を理解する		
			3 M7CL	アウトポートセットアップとオムニアウトを理解する		
2	基礎音響学	デジタルコンソール	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 M7CL	MIXポートの仕組みを理解する		
			3 M7CL	Matrixを理解する		
3	基礎音響学	デジタルコンソール	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 M7CL	DCAを理解する		
			3 M7CL	シーンメモリーを理解する		
4	基礎音響学	デジタルコンソール	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 M7CL	ユーザーディファインドキーを理解する		
			3 M7CL	ブロックダイアグラムを理解する		
5	基礎音響学	マイクロホン	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 指向性	指向性を理解する		
			3 特性	近接効果を理解する		
6	基礎音響学	マイクロホン	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 振動板	振動板を見て理解する		
			3 特殊なマイク	特殊なマイクを理解する		
7	基礎音響学	スピーカー	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 エンクロージャー	スピーカーエンクロージャーを理解する		
			3 特性	スピーカーの特性を理解する		
8	基礎音響学	プランニング	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 マイクアレンジ	マイクの特性を理解する		
			3 回線表	アーティスト情報を基に回線表作成を理解する		
9	基礎音響学	本番に向けて	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 ハウスチューニング	FOHチューニングを理解する		
			3 モニターチューニング	モニターチューニングを理解する		
10	基礎音響学	本番に向けて	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 単音	単音チェックの方法と注意点を理解する		
			3 リハーサル	リハーサルの注意点を理解する		
11	基礎音響学	ワイアレスマイク	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 電波	AM変調とFM変調を理解する		
			3 電波	電波の性質を理解する		
12	基礎音響学	ワイアレスマイク	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 電波	無線システムを理解する		
			3 電波	音響で使用する電波帯を理解する		
13	基礎音響学	ワイアレスマイク	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 電波	B帯のグルーピングを理解する		
			3 電波	ホワイトスペース帯を理解する		
14	基礎音響学	来年度の予習	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 DANTE	DANTEネットワークシステムを理解する		
			3 MICA	MICAシステムを理解する		
15	まとめ	後期講義について	1 実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			3			

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名		コンサート概論2							年度	2024	
英語科目名		Introduction to Concerts 2							学期	後期	
学科・学年		コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		山中大輔		教員の実務経験		有	実務経験の職種		イベント企画・制作		
【科目の目的】											
さまざまな種類のイベントを企画・制作・運営するための業務について事例による書類の作成を通して学び、イベント業界で働くために必要な「イベントづくり」の基本的なスキルを身につける。また、イベントに関する規制、法令、ルールや時代に応じた考え方を理解し、業務に活かせるよう説明・解説できるスキルを身につける。											
【科目の概要】											
1週は前期を振り返り、イベント業務についてより深く理解する。 2～7週はイベントの制作について座学で学び、ワークで実践する。 8～11週はイベントの運営について座学で学び、ワークで実践する。 12～14週はこれからのイベント制作・運営について座学で学ぶ。 15週は事例を通してイベントの企画・計画・制作・運営・結果について座学で学ぶ。											
【到達目標】											
A. 「イベントづくり」における制作の具体的な業務内容について理解し、自身の「イベントづくり」に活かすことができる。 B. 「イベントづくり」における運営の具体的な業務内容について理解し、自身の「イベントづくり」に活かすことができる。 C. イベントに関する規制、法令、ルールや時代に応じた考え方を理解し、業務に活かせるよう説明・解説できる。											
【授業の注意点】											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A		「イベントづくり」における制作の具体的な業務内容について理解し、自身の「イベントづくり」に活かすことができる。				「イベントづくり」における制作の具体的な業務内容について理解している。				「イベントづくり」における制作の具体的な業務内容について理解が乏しい。	
到達目標 B		「イベントづくり」における運営の具体的な業務内容について理解し、自身の「イベントづくり」に活かすことができる。				「イベントづくり」における運営の具体的な業務内容について理解している。				「イベントづくり」における運営の具体的な業務内容について理解が乏しい。	
到達目標 C		イベントに関する規制、法令、ルールや時代に応じた考え方を理解し、業務に活かせるよう説明・解説できる。				イベントに関する規制、法令、ルールや時代に応じた考え方を理解している。				イベントに関する規制、法令、ルールや時代に応じた考え方について理解が乏しい。	
【教科書】											
イベント検定公式テキスト、適宜プリントを配布する											
【参考資料】											
適宜プリントを配布する											
【成績の評価方法・評価基準】											
期末試験											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		コンサート概論2				年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	前期の振り返りと後期の概要説明	1 業界の状況	イベント産業とその業務について解説できる		2	
			2 イベントづくりのながれ	イベントづくりのながれについて解説できる			
			3 到達目標の共有	科目を通して自身の成長を想像できる			
2	イベントの会場制作と会場構成	イベント会場の種類と会場構成の考え方について理解する	1 イベント会場の種類	イベント会場の種類について説明できる		2	
			2 会場構成の考え方	会場構成の考え方を説明できる			
			3 ゾーニング計画	ゾーニング計画のポイントを説明できる			
3		イベントプログラムの種類と制作の考え方を理解する	1 イベントプログラムとは	イベントにおけるプログラムとは何かを説明できる		2	
			2 プログラムの種類	プログラムの種類と構成を説明できる			
			3 プログラム制作の考え方	プログラム制作の視点を説明できる			
4	イベントのプログラム制作	イベントプログラム制作の業務を理解する	1 実施計画	計画づくりに必要な書類を例示できる		2	
			2 実施制作	日程表（工程表）を作成できる			
			3 制作のポイント	実施計画書の構成を例示できる			
5		構成表を作成する	1 構成表とは	構成表とは何かを説明できる		2	
			2 構成表作成の考え方	構成表の構成を理解し計画から必要な要素を見つけることができる			
			3 構成表作成	構成表を作成することができる			
6		進行台本を作成する	1 進行台本とは	進行台本とは何かを説明できる		2	
			2 進行台本作成の考え方	進行台本の構成を理解し構成表から必要な要素を見つけることができる			
			3 進行台本作成	進行台本を作成することができる			
7	イベントの告知と集客	イベントにおける告知と集客の考え方とその手法を理解する	1 告知と集客の考え方	イベントの告知と集客の目的を説明できる		2	
			2 手段とツール	イベントの告知と集客のための手段とツールを例示できる			
			3 告知業務のプロセス	告知業務の作業過程を説明できる			
8		イベント運営の全体像と考え方を理解する	1 広義の運営	イベント運営における広義の運営を説明できる		2	
			2 狭義の運営	イベント運営における狭義の運営を説明できる			
			3 運営の考え方	イベント運営の考え方を説明できる			
9	イベントの運営	イベント運営業務を理解する	1 会場運営の業務	会場運営に関わる業務を説明できる		2	
			2 プログラム進行の業務	プログラム進行に関わる業務を説明できる			
			3 運営業務のポイント	運営業務の役割を説明できる			
10		イベントを運営するマニュアルとは何かを理解する	1 運営マニュアルとは	運営マニュアルとは何かを説明できる		2	
			2 運営マニュアルの構成	運営マニュアルの構成を例示できる			
			3 運営マニュアルの視点	運営マニュアルの役割を説明できる			
11		運営マニュアルの作成とロールプレイ	1 マニュアル作成のポイント	マニュアル作成に必要な要素を見つけることができる		2	
			2 マニュアル作成	マニュアルを作成することができる			
			3 ロールプレイ	より良いマニュアルを作成するための多様な視点に気付くことができる			
12	イベントのリスクマネジメント	イベントにおける安全管理と危機管理を理解する	1 イベントにおけるリスク	リスクの定義とイベントにおける多様なリスクを説明できる		2	
			2 リスクの基本対策	リスクの基本対策を例示し説明できる			
			3 イベントと保険	イベントの保険の考え方とイベントに関連する保険を説明できる			
13	イベントとコンプライアンス	イベントにおけるコンプライアンスを理解する	1 コンプライアンスの考え方	コンプライアンスの考え方を説明できる		2	
			2 各種規制と関連法規	イベントづくりに関する各種規制と関連法規を例示できる			
			3 サステナビリティとレガシー	サステナビリティとレガシーについて説明できる			
14	ユニバーサルイベント	ユニバーサルイベントを理解する	1 ユニバーサルイベントの背景	ユニバーサルイベントの背景を説明できる		2	
			2 ユニバーサルイベントの概念	ユニバーサルイベントの考え方を解説できる			
			3 ユニバーサルイベントの構造	ユニバーサルイベントの構造を解説できる			
15	まとめ	事例を通してイベントの制作業務の過程を確認する	1 イベントの企画・計画	イベントの企画・計画に必要な業務を解説できる		2	
			2 イベントの制作	イベントの制作に必要な業務を解説できる			
			3 イベントの運営・結果	イベントの運営業務を解説し結果を報告することができる			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	コンサート概論2								年度	2024
英語科目名	Introduction to Concerts 2								学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	八幡一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		コンサートプロモーター/コンサートプロデューサー			
【科目の目的】										
コンサート・音楽イベントについて必要不可欠な知識を学びます。音楽業界を中心に多岐にわたる様々な職種について幅広い知識を得ることにより、エンタテインメント産業の全体像を学習する。目紛しく変化が著しい音楽業界において現状の動向を踏まえながら、未来のライブイベントビジネスをリードするイベントプロデューサー、コンサートプロモーターの人材として、知識と能力を身に付けることを目的とします。										
【科目の概要】										
コンサート・音楽イベントにおける企画段階のアイデア構築から演出プランを策定し、実施会場、チケット販売委託業者等への関係各所への手配や調整、マーケティングから紐付けられるプロモーション施策の策定、コンサート・音楽イベント実施日に向けての様々な準備そして実施当日の運営業務まで、コンサート・音楽イベント開催に至る全体的な一連の流れを時間軸に沿ってその行程を理解する。コンサート・音楽イベント制作業務を学ぶことにより、学生の自主的に考え、学び、行動する力を学ぶ。										
【到達目標】										
A ライブハウス運営、営業について理解し説明できる B コン서트・音楽イベントにおける演奏使用について理解し説明できる C コン서트・音楽イベントのチケットティングについて理解し説明できる D コン서트・音楽イベントのプロモーションについて理解し説明できる E コン서트・音楽イベントの当日運営について理解し説明できる										
【授業の注意点】										
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	ライブハウス運営、営業について理解し説明できる		ライブハウス運営、営業について理解できる		ライブハウス運営、営業について理解が乏しい					
到達目標 B	コンサート・音楽イベントにおける演奏使用について理解し説明できる		コンサート・音楽イベントにおける演奏使用について理解できる		コンサート・音楽イベントにおける演奏使用について理解が乏しい					
到達目標 C	コンサート・音楽イベントのチケットティングについて理解し説明できる		コンサート・音楽イベントのチケットティングについて理解できる		コンサート・音楽イベントのチケットティングについて理解が乏しい					
到達目標 D	コンサート・音楽イベントのプロモーションについて理解し説明できる		コンサート・音楽イベントのプロモーションについて理解できる		コンサート・音楽イベントのプロモーションについて理解が乏しい					
到達目標 E	コンサート・音楽イベントの当日運営について理解し説明できる		コンサート・音楽イベントの当日運営について理解できる		コンサート・音楽イベントの当日運営について理解が乏しい					
【教科書】										
参考書・参考資料等は、授業中に指示します。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
* 試験と課題を総合的に評価する。 * 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		コンサート概論2			年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ライブハウス運営・営業	シミュレーション課題を通してライブハウスの運営・営業を学ぶ	1 対バン企画	対バンイベント企画の考え方を理解する	2	
			2 アーティストブックイング	ブックイングに際する依頼、交渉、条件を理解する		
			3 公演打ち合わせ	公演打ち合わせに際する書類作成、手配関係を理解する		
2	ライブハウス運営・営業	シミュレーション課題を通してライブハウスの運営・営業を学ぶ	1 公演概要書	公演概要書の項目内容を理解する	2	
			2 手配確認書	手配確認書の項目内容を理解する		
			3 プレイガイド手配	プレイガイド手配に際して必要な手配内容を理解する		
3	ライブハウス運営・営業	シミュレーション課題を通してライブハウスの運営・営業を学ぶ	1 出演条件	出演条件であるノルマ、チャージバックの仕組みを理解する	2	
			2 ドリンク代徴収	飲食店営業許可、特定遊興飲食店営業許可について理解する		
			3 物販手数料	会場内での物品販売について仕組みを理解する		
4	コンサート・音楽イベントにおける演奏使用	音楽著作権団体への演奏使用申し込みを学ぶ	1 JASRAC	演奏使用利用申込書、演奏利用明細書の記入方法を理解する	2	
			2 J-WID	アーティスト楽曲の管理状況の調査手順を理解する		
			3 演奏使用利用料	総入場算定基準額から公演1回の演奏使用利用料金を紐解く		
5	音楽出版社について	著作者・著作権者・著作権管理団体・著作権線使用者について学ぶ	1 著作権使用者	コンサート・音楽イベントの主催者と様々な著作権使用者を理解する	2	
			2 著作権者	作家より著作権譲渡された音楽出版社を理解する		
			3 著作権管理団体	音楽出版社より信託譲渡された著作権管理団体を理解する		
6	コンサート・音楽イベントのチケットティングについて	プレイガイドへの発券、配券手配から精算までの流れを学ぶ	1 チケット適正流通協議会	チケット不正転売禁止法から音楽業界団体組織を理解する	2	
			2 ライブ・エンタテインメント約款	ACPCのライブ・エンタテインメント約款を理解する		
			3 プレイガイド手配	プレイガイドの業務内容を理解する		
7	コンサート・音楽イベントのチケットティングについて	プレイガイドへの発券、配券手配から精算までの流れを学ぶ	1 プレイガイド手配	発券手配、券面校正、配券の手配を理解する	2	
			2 電子チケット	電子チケットの導入へのメリット・デメリットを理解する		
			3 販売促進	先行・独占・抽選など販売促進方法を理解する		
8	セットリスト・セッティング図・タイムテーブル	コンサート・音楽イベントの当日に関わるデータ書類を学ぶ	1 セットリスト	サンプルのセットリストを作成する	2	
			2 セッティング図	サンプルのセッティング図を作成する		
			3 タイムテーブル	サンプルのタイムテーブルを作成する		
9	機材リスト・レンタル楽器・各種スタジオについて	コンサート・音楽イベントの当日に向けた事前準備を学ぶ	1 機材リスト・レンタル楽器	基本的な3リズムバンドの楽器、機材を理解する	2	
			2 機材リスト・レンタル楽器	各楽器、機材の特徴、形状を理解する		
			3 各種スタジオ	RHスタジオ、RECスタジオ、マスターリングスタジオの違いを理解する		
10	コンサート・音楽イベントのプロモーションについて	ターゲット設定から到達までのアイデアを考え、計画し実施することを学ぶ	1 プロモーションターゲット	ターゲットの設定とアプローチ、リーチを理解する	2	
			2 プロモーションメディア	様々なメディアの種類を理解する		
			3 プロモーションスケジュール	戦略的な時間軸に沿った告知、宣伝方法を理解する		
11	コンサート・音楽イベントのプロモーションについて	ターゲット設定から到達までのアイデアを考え、計画し実施することを学ぶ	1 プロモーションアイデア	ターゲットに向けた表現方法や表現手法を理解する	2	
			2 宣伝材料	宣伝材料の種類、デザインの考え方を理解する		
			3 プレスリリース	サンプルのプレスリリースを作成する		
12	広告とパブリシティ	マスコミ4媒体、補完メディア、インターネットメディアなど各種媒体について学ぶ	1 広告媒体	様々な広告媒体種別を理解する	2	
			2 パブリシティ	効率よく宣伝するための情報拡散の手法を理解する		
			3 広告代理店	広告代理店の業務内容を理解する		
13	コンサート・音楽イベントの当日運営について	運営マニュアルの構成要素について学ぶ	1 アーティスト	アテンド、楽屋準備、ケータリングなど当日運営を理解する	2	
			2 来場者	場外、ホワイエ、客席運営について理解する		
			3 現場スタッフ	コンサート・音楽イベントに関わる全てのスタッフとの連携を理解する		
14	レコードメーカー・楽曲配信	楽曲リリースについて方法、契約形態を学ぶ	1 メジャーレーベル	国内メジャーとワールドメジャーの違いを理解する	2	
			2 インディーズ・自主レーベル	インディーズ・自主レーベルの運営方法を理解する		
			3 楽曲配信	アグリゲーター、サブスクリプション等契約形態を理解する		
15	米国でのマネージメントビジネス	アーティストとパーソナルマネージャーの周辺のビジネス組織について学ぶ	1 エージェント	出演契約の獲得や営業活動について理解する	2	
			2 海外アーティストの招聘	出入国在留管理庁への在留資格認定申請から来日までの行程を理解する		
			3 海外アーティストの来日公演	来日ツアーのアウトラインと行程を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	コンサート概論2								年度	2024
英語科目名	Introduction to Concerts 2								学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	田城 佳子	教員の実務経験		無	実務経験の職種					
【科目の目的】 安全かつスピーディーに作業を行う為に、舞台についての基礎を理解し、他セクションともコミュニケーションを取りながら作業が出来るよう、知識だけではなくスタッフとしての意識も身につける。										
【科目の概要】 コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。										
【到達目標】 この科目では、学生が舞台の基礎となる、劇場の機構、舞台用語、稽古から公演に至る道程、基本的な大道具（舞台美術）等、働き始める為の学び。 実際には、コンサートや舞台の現場に出た際に、事故などに合わず、スムーズに仕事に付ける知識をつけることを目標とする。										
【授業の注意点】 この授業では、挨拶・コミュニケーションを重要視し、受け答えがしっかり出来るように注意する。 携帯の使用などに対しては厳しく注意し、場貢献する意識を醸成させる。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
到達目標 A	イントレを使ったステージについて、安全管理を含めた管理ができる。			イントレを使ったステージの部材出しなどを計画できる。				イントレの構造などについて理解できていない。		
到達目標 B										
到達目標 C	各セクションとのミーティングにおいて、取りまとめて運営できる。			各セクションとのミーティングにおいて、舞台側の内容を伝えられる。				各セクションとのミーティングにおいて、舞台側の内容を理解できない。		
到達目標 D										
到達目標 E	実際のイベントにおいて、監督の立場で全体を把握し、管理・運営できる。			実際のイベントにおいて、流れを把握して作業を実施することができる。				実際のイベントにおいて、準備等を含め内容を理解できていない。		
【教科書】 プロジェクター投影にて行い、授業後にClassroomにてデータ資料を共有する。必要に応じ紙資料の配布。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 * 試験と課題を総合的に評価する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 * 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		コンサート概論2				年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	舞台美術 3 (A2イントレ)	A2イントレ 平面図・立面図 の理解	1	安全に対する理解	安全に作業する事、ヘルメット・フルハーネス	2	
			2	ステージ平面図作成	A2イントレにて、ステージ平面図の作成の理解		
			3	ステージ正面図作成	A2イントレにて、ステージ正図面の作成 理解		
2	舞台美術 4 (基礎舞台)	基礎舞台 図面作成 (アルミステージ) の理解	1	部材本数だしの理解	前回の図面を見て、イントレの部材本数だし	2	
			2	基礎舞台の部材理解	アルミステージの部材の種類、名称の理解		
			3	基礎舞台平面図の理解	基礎舞台 平面図作成・員数だし		
3	文化祭に向けて 野外st・ホール	野外ステージ ホールでの 進行内容の理解	1	安全に対する理解	安全に作業する事の理解	2	
			2	野外st 進行内容理解	野外stの進行内容を理解する		
			3	ホール進行内容を理解	ホールの進行内容を理解する		
4	文化祭 振り返り	文化祭を終えて 振り返り	1	チームで振り返り発表	チーム内で振り返り・まとめる、協調性の理解	2	
			2	チームで振り返り発表	チーム内で振り返り・まとめる、協調性の理解		
			3	次年度に向けて	次年度へ向けての改善点も考え理解する		
5	12月 Live 実習に 向けて①	プロダクション MTG	1	プロダクションMTG の理解	プロダクションMTGとは何か どおゆう内容を確認するのか 質問する内容を理解する	2	
			2				
			3				
6	12月 Live 実習に 向けて②	チーフMTG	1	チーフMTG の理解	チーフMTGにて話合う内容の理解 仕込み段取り・RH内容・本番の流れ・バラシの 段取りを打合せし、各コースに伝えてもらう	2	
			2				
			3				
7	12月 Live 実習に 向けて③	他コースの流れ	1	照明・PA・制作 仕事内容の理解	他コースの仕事内容の理解 照明・PA・制作コースの流れを理解する	2	
			2				
			3				
8	12月Live 本番A 振り返り	本番A 振り返り	1	仕込みから本番 撤収作業までの 振り返り	仕込みから、本番・撤収作業までの振り返り 問題点があれば、次回はどうするべきか グループ毎に発表をする	2	
			2				
			3				
9	12月Live 本番B 振り返り	本番B 振り返り	1	仕込みから本番 撤収作業までの 振り返り	仕込みから、本番・撤収作業までの振り返り 問題点があれば、次回はどうするべきか グループ毎に発表をする	2	
			2				
			3				
10	外部会館	外部会館 J:COMホール八王子	1	J:COMホール八王子 舞台機構・名称 の理解	2年生 卒業ライブ本番観覧に向けて J:COMホール八王子の舞台機構・名称の理解	2	
			2				
			3				
11	修了ライブ に向けて①	転換イベントの流れ	1	転換イベントの流れ 逆RH・順RHの理解	修了ライブでは、2バンド出演のため タイムテーブル・逆RH・楽器転換の意味を理解する	2	
			2				
			3				
12	修了ライブ に向けて②	楽器の復習 楽器転換の理解	1	転換イベントの流れ 楽器転換・逆転換 の理解	楽器の復習 転換イベントの流れを理解する 転換時のPA(ステージ班)との関わり お互いに声を掛け合い、作業して行く事の必要性	2	
			2				
			3				
13	修了Live 本番A 振り返り	本番A 振り返り	1	仕込みから本番 撤収作業までの 振り返り	仕込みから、本番・撤収作業までの振り返り 問題点があれば、次回はどうするべきか グループ毎に発表をする	2	
			2				
			3				
14	修了Live 本番B 振り返り	本番B 振り返り	1	仕込みから本番 撤収作業までの 振り返り	仕込みから、本番・撤収作業までの振り返り 問題点があれば、次回はどうするべきか グループ毎に発表をする	2	
			2				
			3				
15	まとめ	後期授業の総復習	1	後期授業の総復習	後期授業の総復習	2	
			2				
			3				

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等